

「地域の子どもは地域で守り育てる」を大切に

秋田市教育委員会

放課後子ども教室の実施状況

秋田市は、人口約三三万人からなる中核市として、小学校四七校、児童数約一万七〇〇〇人を有しています。

これまで本市では、放課後児童対策として各小学校区に児童センター、児童館、児童室の整備を計画的に進め、現在三六か所に設置しています。「放課後子ども教室」はこれらの児童センター等を活用して実施しており、そ

の概要は以下のとおりです。

なお、教室を開設していない時間帯は地域住民に開放し、地域コミュニティの場として活用しています。

① 開設日および時間

平日(月～金曜日) 13:00～18:00
土曜日・長期休業日 8:30～18:00

② 職員配置

安全管理員(嘱託職員) …一教室に二～三名配置し、合計八二名
コーディネーター…社会教育指導員が兼務し、一名配置

③ 活動内容

これまでは児童センター等において、子どもに健全な遊びを提供することをおもな活動としてきましたが、「放課後子ども教室」の導入にともない、体験・交流活動の充実に努めています。その結果、各教室で趣向を凝らした行事回数が増加し、昨年度の約一・五倍となっています。体験活動としては、おもに季節や敬老の日等にちなんだ工作やニュースポーツ、交流活動では、地域の高齢者を交えた伝承遊び、読み聞かせ、お茶会等を実施しています。

また、放課後児童健全育成事業との連携として、近隣の放課後児童クラブと共催で行事

児童数は減少してきているものの、児童センター等の平成一八年度利用児童数は約五四万人で年々増加傾向にあり、本市が独自に実施していた五年前に比べ平日は一教室あたり約二〇％増えています。しかし、土曜日は逆に約一三％減少しており、学校の休みの日はできるかぎり家族や近隣で過ごすようにしていることが推察されます。

③ 学習アドバイザーの配置

学習アドバイザーの配置については、当初、どれだけの利用者がいるのか心配しましたが、教室利用児童の約三四％は学習アドバイザーを活用しています。



子どもたちの疑問に答える学習アドバイザー



泉地区児童育成クラブのみなさん

地域住民の協力体制

本市では、教室を円滑に運営するため、ほとんどの教室ごとに町内会、民生・児童委員、PTA関係者等で構成する運営委員会と、地域住民の自主的な参加によるボランティア団体として児童育成クラブを

設置してあります。また、各運営委員会、児童育成クラブが主体となつて連絡協議会を立ち上げ、活動報告会や相互の情報交換を行

体として児童育成クラブを



放課後子ども教室内の様子

放課後子ども教室の利用状況

① 児童数の推移

本市でも少子化の傾向は顕在化しており、平成一九年度の児童数は、前年度比較で約五〇〇人減少しています。一方で、留守家庭児童数は、五年前に比べ約一五％増加し、四人に一人は留守家庭児童となっています。

② 利用児童数の推移

つており、さまざまなかたちで地域住民からご支援をいただいております。

特に、市の中心部に位置する泉地区の放課後子ども教室では、利用児童数が一日平均約七〇人もいることから、児童育成クラブに在籍する三四人のボランティアが自発的に当番制をとり常時一人以上が教室の運営に協力するなど、子どもの安全管理や教室の活動をサポートしていただいております。また、教室を開設していない時間帯は一般開放していることもあり、施設周辺の環境整備や年に数回行う大掃除の際には、一般利用者にも参加を呼びかけ協働で行っております。

今後の課題

本市では、四七小学校区のうち一二学区が放課後子ども教室の未設置学区となっており、その解消を当面の課題としております。未設置学区の小学校はおもに小規模校であることから、学校の余裕教室等を利用した整備を中心に、全小学校区に放課後子ども教室を設置したいと考えております。

今後とも地域住民のご協力をいただきながら「地域の子どもは地域で守り育てる」気運を盛り上げ、子どもたちの安全・安心な居場所づくりに取り組んでいきます。

(生涯学習室長補佐 加藤育広)